

施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

| | | |
|-------|-------|-----------------|
| 担当部局名 | 部長名 | 連絡先 (担当室名) |
| 産業部 | 橋本 裕徳 | 63-7648 (観光交流室) |

| | | | |
|------|------|---|------------------------|
| 施策体系 | 政 策 | 3 | 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし |
| | 基本施策 | 5 | 都市産業の振興 |
| | 施 策 | 2 | 観光 |

1. 施策の基本方針 P l a n

- 観光客のニーズに添った多彩なメニューを整備し、市域全体を魅力ある楽しい観光のまちとして集客の促進を図ります。
- 集客交流のための機能を整備して、新しい都市観光を創出します。
- 広域観光ネットワークを活用し、一体的な観光客誘致戦略のもと積極的な情報発信を行い、広がりのある広域的観光ゾーンの形成を目指します。

2. 目標

重点目標 P l a n

- 魅力ある観光地づくり
- エコツーリズムを推進していくため、実施に向けた効果的な仕組みづくりを行うとともに、エコツーリズム推進法に基づく認定を目指して取り組みます。
 - 市内にある観光施設について、施設に応じた適切な維持管理を行うことで、利便性を高め、観光地の魅力向上に努めます。
- 集客交流機能の向上
- 「ご当地グルメによるまちおこしイベント」の開催準備に向け、情報収集を図ります。
 - 名張市観光協会をはじめ、民間活力を活用し、情報発信機能や集客交流機能の向上を図ります。
 - 観光拠点である赤目四十八滝をはじめ、市内全体の観光入込客数100万人規模に向けて取り組みます。
- 広域観光戦略
- 近隣市村と観光を通じた連携を強化し、近隣観光地との相乗効果による観光誘客・情報発信を行います。また、平成26年度まで続く「美し国おこし・三重」事業を絡めた事業展開を図り、当地域の魅力を高めていきます。
 - 伊賀流忍者を三重県全体の観光資源として位置付け、伊賀圏域全体の知名度を上げて名張市の入込客数増加に繋げられるような取組を図ります。

目標達成に向けた課題 P l a n

- 魅力ある観光地づくり
- エコツーリズム全体構想の認定申請に向け、市民の理解を深める必要があります。また、実践に向けた体制作りが必要となっています。
 - 老朽化が進む観光施設が多く、地域の活動団体や指定管理者制度を活用した効率的な施設管理が必要です。
- 集客交流機能の向上
- 平成25年秋のご当地グルメによるまちおこしイベント開催に向け、実行委員会の運営方法や具体的な事務作業について情報収集する必要があります。
 - 観光協会の運営基盤の強化に向け、事業の見直しを検討する必要があります。
 - 赤目四十八滝の観光入込客数は減少傾向にあり、赤目四十八滝渓谷保勝会との連携強化や、観光キャンペーンの強化に取り組む必要があります。
 - 市内の観光入込客数の集計方法を全国観光統計基準に照らして見直し、花火大会の参加者数や、新たに誕生した施設(まちの駅なびり等)の数を含めることとなったため、総合計画の指標の見直し等検討が必要です。
- 広域観光戦略
- 広域的な情報発信機能の強化に向け、東大和西三重地域だけでなく、美し国おこし三重実行委員会や地域の団体と連携した取組や、情報発信の強化が必要です。
 - 伊賀流忍者については役割分担を明確にし、着実に事業を展開していく必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

- 観光関係団体の主体的な取組を支援する事業手法を検討する必要がある。

施策指標(目標)及び達成状況 P l a n D o

| 施策指標(目標)の内容 (単位) | | 現状値 (H20) | 2009 (H21) | 2010 (H22) | 2011 (H23) | 2012 (H24) | 2015 (H27) | 進捗率 |
|--|----|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 観光入込客数(市全体) (人) (平成24年度以降は全国観光統計基準に基づく) | 目標 | - | - | - | - | 480,000 | 482,000 | |
| | 成果 | 297,000 | 365,000 | 312,000 | 385,630 | 944,283 | | 100% |
| 観光入込客数(赤目滝) (人) | 目標 | - | - | - | - | 260,000 | 265,000 | |
| | 成果 | 193,000 | 177,000 | 177,000 | 145,613 | 174,752 | | 0% |
| 観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数 (件) | 目標 | - | - | - | - | 440 | 670 | |
| | 成果 | 410 | 283 | 290 | 350 | 385 | | 0% |
| 東大和西三重観光連盟ホームページへの1日平均アクセス件数 (件) | 目標 | - | - | - | - | 25 | 28 | |
| | 成果 | 20 | 18 | 20 | 20 | 20 | | 0% |
| 名張市の物産や観光地が全国に向けてPR(情報発信)されていると感じる市民の割合 (%) 新規設定 | 目標 | - | - | - | - | - | 30.0 | |
| | 成果 | - | - | - | 23.2 | 26.6 | | H25取組分より評価対象 |

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

魅力ある観光地づくり
 ・エコツーリズムの推進については、関係者と効果的な仕組みづくりについて協議を行うとともに、全体構想を市民説明会で説明し、一定の理解を得ました。
 ・観光施設の管理については、地域の活動団体への委託や指定管理者制度を活用し、効率的な管理ができました。
集客交流機能の向上
 ・ご当地グルメによるまちおこしイベントについて、自治体関係者から準備についての情報収集を行いました。
 ・名張市観光協会の情報発信のあり方や委託内容の見直しを行い効果を高めるとともに、基盤強化についても検討を始めました。
 ・赤目四十八滝渓谷保勝会と連携し、市内・市外のイベントや観光キャンペーンで無料入山券を配布しました。
 ・市内の観光入込客数については、実態に則した統計方法ではなかったため、名張川納涼花火大会などのイベントの参加者数や、まちの駅なばりなどの新たな施設の利用者数を加えるなど、全国観光統計基準に基づき見直しを行いました。

広域観光戦略
 ・東大和西三重地域や伊勢神宮と関わりを持つ団体等との連携強化など、広域的な情報発信などの取組に努めました。また、ホームページのアクセス数向上に向けた検討を行いました。
 ・伊賀流忍者推進協議会で協議を重ね、伊賀流忍者を内外に発信していくためのロゴマークや忍者衣装製作、ホームページ整備等について検討を行いました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
 ・赤目四十八滝渓谷保勝会では、名勝地に指定されてからの入山者数が1,000万人を突破したことから、無料入山券を配布することになり、市としても観光キャンペーンやイベントで配布の協力を行いました。また、観光協会、青蓮寺湖ぶどう組合、漁業組合主催のイベントについて雑誌編集社や報道機関への情報提供などの支援を行いました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

・総合計画に掲げるそれぞれの取組で、観光関係団体や地域と連携し、環境整備、新たな観光メニューの開発、情報発信を進めることができました。
 ・エコツーリズムでは、地域づくり組織の代表者が推進協議会委員として協議に参画しています。また、東大和西三重観光連盟の事業については、地域会員だけでなく美し国おこし・三重事業に関わる団体と協働して事業を展開できました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 11 事業)

Do

Check

| 事務事業 シート 番号 | 事業名・担当室名 (事業名の 印は、市長の重点施策事業を示しています) | | 事業費 (単位：千円) | | 担当室による評価 | | | 部局による評価 | |
|------------------------|--|-------|----------------|--------|---------------------|-------------------------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | | | | 事務事業の 施策への 貢献 | 地域づ くり組 織等と の連 携・協 働 | 事務事業 シートでの 今後の 方向 | 施策 達成 への 貢献度 | 施策 達成 への 重要度 |
| | | | | | | | | | |
| 1115 | 観光振興対策費 | 観光交流室 | 5,646 | 12,136 | A | 実践している | 継続(改善) | A | A |
| 1182 | エコツーリズム構想策定事業 | 観光交流室 | 4,959 | 82 | B | 実践している | 継続(拡大) | B | B |
| 1211 | 「名張牛汁」による観光振興事業 (緊急雇用創出事業) | 観光交流室 | 0 | 1,753 | B | 実践している | H24完了 | C | C |
| 1227 | 観光地の統計調査及び観光案内事業 (緊急雇用創出事業) | 観光交流室 | 0 | 1,458 | B | 検討している、今後可能性がある | H24完了 | C | C |
| 3062 | 内水面資源観光活用事業補助金 | 観光交流室 | 2,585 | 2,585 | B | 実践している | 継続(現行) | B | B |
| 3063 | 名張夏まつり事業補助金 | 観光交流室 | 2,100 | 2,100 | B | 実践している | 継続(改善) | B | B |
| 3064 | 名張市観光協会補助金 | 観光交流室 | 6,500 | 6,500 | B | 実践している | 継続(改善) | B | B |
| 3082 | 着地型観光事業促進支援事業 | 観光交流室 | 821 | 797 | B | 実践している | H24完了 | C | C |
| 5019 | キャンプ場管理費 | 観光交流室 | 3,085 | 3,825 | B | 実践している | 継続(改善) | B | B |
| 5020 | 観光施設管理費 | 観光交流室 | 9,056 | 7,678 | B | 実践している | 継続(現行) | B | B |
| 6085 | 広域観光事業 | 観光交流室 | 250 | 250 | B | 実践している | 継続(拡大) | A | A |
| 合計(単位：千円) | | | 35,002 | 39,164 | | | | | |
| 小計(うち、一般会計分) | | | 35,002 | 39,164 | | | | | |
| 小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分) | | | 0 | 0 | | | | | |

5. 部局による施策評価

Check

評価

計画どおり事業推進

成果・評価理由

- ・エコツアーの仕組みづくりや観光施設の適切な管理によって観光地としての魅力を向上させ、観光協会等の関係機関と連携して観光案内や情報発信に取り組み、県や地域と協働で東大和西三重圏域や伊賀圏域の広域事業に取り組みました。
- ・市全体の観光入込客数を統計の基準に照らしてイベントや観光施設を追加したことで、より実態に近い形に見直すことができました。また、赤目四十八滝の入込客数についても、天候に恵まれたことや情報発信の強化、入山券の配布などにより回復しました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

- ・エコツーリズムについては、国の認定申請に向けて協議を進めるとともに、先進的に取り組んでいる赤目地域を中心とした持続可能な仕組みづくりを進め、体験型観光メニューを充実させていきます。
- ・観光協会の運営基盤を強化するとともに、市と連携して観光案内・情報発信など戦略的な事業展開を図っていきます。
- ・東大和西三重観光連盟では、近隣市村や地域と連携して広域情報発信に努めるとともに、美し国おこし・三重事業とも連携した事業を展開していますが、ホームページのアクセス数に繋がる手法について検討を進めます。
- ・ご当地グルメによるまちおこしイベントや、伊賀流忍者の広域連携など、集客効果の高い事業に積極的に取り組んでいきます。
- ・総合計画や産業振興ビジョンの目標達成に向け、観光入込客数100万人規模を目指し、観光施策を体系的にまとめた名張市らしい観光戦略策定に向け検討していきます。

7. 総合評価

評価

C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる

評価理由及びその他（意見）

地域資源を活用した新たな観光施策の展開と情報発信に重点的に取り組む必要がある。